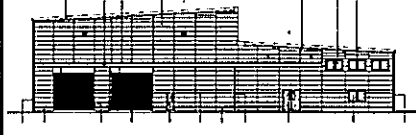


CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	マルホ発條工業株式会社第12期棟	階数	地上2F
建設地	京都府亀岡市吉川町吉田岩ノ上12-	構造	S造
用途地域	無指定地域	平均居住人員	47人
地域区分	5地域	年間使用時間	3,650時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年4月 予定	評価の実施日	2023年5月18日
敷地面積	17,674 m ² /	作成者	小西 均
建築面積	1,944 m ² /	確認日	2023年5月18日
延床面積	2,996 m ² /	確認者	小西 均



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★☆☆☆☆

S: ★★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B+: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

① 参照値	100%
② 建築物の取組み	100%
③ 上記+②以外の	97%
④ 上記+	97%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.7

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.1

3 設計上の配慮事項	
総合 省エネ器具の採用により、二酸化炭素排出の低減に努めている。	その他 特に無し。
Q1 室内環境 建築基準法の1.4倍以上の換気量を確保している。	Q2 サービス性能 耐用年数の長い仕上げ材や配管材料を採用し、建物の耐用性の向上に配慮している。
Q3 室外環境(敷地内) 外構緑化を積極的に行っている。	
LR1 エネルギー LED照明器具を採用し、省エネルギー化に努めている。	LR2 資源・マテリアル 節水型便器を採用し、節水に努めている。
	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率97%

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される